

# UK KOSMIC KOLOR URETHAN ENAMEL KANDY

## 一般情報

コスミックカラーウレタンエナメルキャンディーは、当社 SHIMRIN ユニバーサルベースコートの上に塗装が可能です。その際は、コスミックリデューサーのみご使用ください。ハウスオブカラー製品と他社製品を混ぜて使用しますと、問題の原因となりえるため、ご利用は避けてください。これは他社のプライマー、シーラー、リデューサーやクリアも含まれます。

## 重要

当製品の希釈にはコスミックリデューサーを必ずご使用ください。換気状態で塗装ブースの温度に適したリデューサーを選んでください。塗装ブースを使用しない場合は、速乾性のリデューサーをご利用ください。コスミックリデューサーの乾燥時間にはかなり差があります。薄くする場合には同じリデューサーを追加するか、乾燥時間の遅いリデューサーを追加してください。コスミックリデューサーについての詳細は、テックシートをご参照願います。

## UK についての重要事項

アートワークで UK をご使用の際に、下記の UK はにじみが生じる恐れがありますのでご注意ください。アートワークを行う前は、当社の SBS-10 を常にご利用ください。ブリードチェックシーラーについての詳細は、テックシートをご参照願います。

2液性クリアコートはにじみを防ぐ効果はありませんので、ご注意ください。

対象となる UK 製品は次の 5 種類です：UK-03 UK-05, UK-06, UK-10, UK-13

## UK-18 キャンディーピンクについての重要事項

UK キャンディーピンクは日射に弱く、日光に当たることが限られる環境に適していますので、ご注意ください。

ショーカー等に UK-18 はお勧めです。

## 1. 準備

作業を始める前は“Tech Prep”を必ずお読みください。フィラーのにじみを防ぐため、KP-2CF もしくは KP-21 エポキシプライマーを 3 コート塗装してください。KP プライマーの詳細については、テックシートをご参照願います。

## 2. グラウンドコート

- プライマー (KP-2CF, KP-21)
- シーラー (KO-SEALII)
- SHIMRIN ベース

ベースコートの塗装を始める前に、車両の色は 1 色で統一してください。プライマーとシーラーはグラウンドコートとしてもご利用可能です。ハウスオブカラーの KO-SEALII (3 色可能) をご使用ください。ベースコートの使用量を最小限におさえるために、ベースカラーに最も近いシーラーをご利用ください。シーラーの乾燥時間は十分おとりください。KO-SEALII と KP プライマーの詳細については、テックシートをご参照願います。

注：シーラーは不十分に準備された下地、変色やにじみといった問題の解決にはなりません。また、当社のコスミックカラー SHIMRIN ベース：デザイナーパール、グラフィックカラー、ネオン、メタリックなど、どれでもグラウンドコートとしてご利用になれます。グラウンドコートの色は、最終的な仕上がりの色にも影響があります。ラベルの注意事項に従い、コートごとに十分フラッシュ時間をおいてください。取り扱いについては、テックシートをご参照願います。

## 3. ベースコート

コスミックカラーウレタンエナメルの下地として、どの SHIMRIN ベースでもご利用いただけます。ベースカラーはコーティング毎に乾燥時間を十分おとりください。使用方法については、テックシートをご参照願います。



# UK KOSMIC KOLOR URETHAN ENAMEL KANDY

## 4. コズミックカラーキャンディーコート (UK)

コズミックキャンディーは、SHIMRIN ベース全種またはコズミックソリッドカラー全種の上から塗装が可能です。キャンディー2に対し KU-100 が1、コズミックリデューサーが1の割合で希釈します。リデューサーは当社のコズミックリデューサーを必ずご利用ください。この際に塗装ブースの環境に適したリデューサーをお選びください。リデューサーについての詳細は、テックシートをご参照願います。

注：ガンのフローアウトを良くするために、3～6オンスのリデューサーをさらに追加することも可能です。

注：KU-100は湿度に敏感なため、一度開封してしまうと長期間の保存はできません。細かい作業を行う場合、商品の劣化を防ぐために小さい容器での購入をお勧めします。容器はしっかりと閉めてご使用ください。

ストレーナーで塗料をこしてからガンに注いでください。空気圧はガンで 50-60psi、HVLV のノズルで 10psi に設定してください。

5～6コート塗装することによって適度な色を出すようにしてください。約75%の重複パターンで、3回ミディアムウェットコートから始め、最後の2～3回を約50%の重複パターンでフルウェットコートにて仕上げます。ガンと塗装面の間は6インチほど間隔をあけて、塗装してください。また車の側面のような距離のある塗装面に対しては歩きながら塗装して全体を均一にカバーするように心がけてください。コーティング間の乾燥時間の管理には最善の注意が必要です。

乾燥度確認テスト一次のコーティングを塗装する前に、塗装面を指で軽く触り、表面にべたつきはあっても糸を引かない程度であることを確認してください。

注：コーティング間の乾燥時間が長すぎると、剥離の原因になりますので、ご注意ください。もし乾燥させすぎた場合、12時間置いた後にスコッチブライトをかけた後、再度塗装してください。

注：色の強度はベースカラーの種類、キャンディーのコート回数、クリアコートの種類とコート回数、または、塗装技術によって変化します。ベースカラーの色が薄目の場合、キャンディーのコーティング数を多目にする必要があります。逆にキャンディーの色に近い同系色のベースカラーを使用することにより、塗料を最小限に抑え、フィニッシュを長持ちさせることができます。

## 5. キャンディーの塗装技術

キャンディーの塗装は最も高度な技術を必要とする塗料の一つです。ペイントガンの設定、コーティングの回数、塗装技術の基本には細心の注意が必要です。下記のステップに従って、作業を行ってください。

### ガンの設定

- ・ ガンの使い方を十分理解の上、進めてください。
- ・ ガンのスプレーパターンが均一であることを確認してください。(参照：図1)
- ・ トリガーを制限するため塗料ノブを調整し、キャンディーの塗布量を絞ってください。フィニッシュにムラが出るのを抑えるために、最初の2、3コートはこのように塗布量を絞ってください。

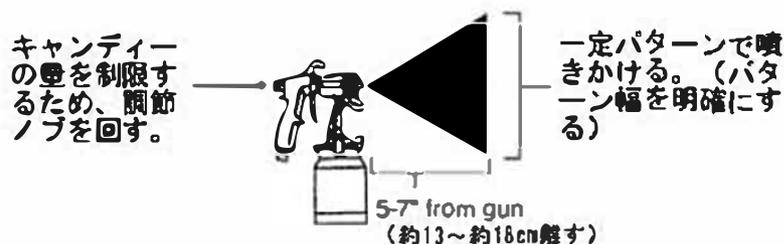


図1

# UK KOSMIC KOLOR URETHAN ENAMEL KANDY

塗装 - まずは 2、3 コート噴きかける

- ・ 説明書とおりのオーバーラップパターンにて塗装する。(参照：図 2)
- ・ ガンを表面から 5～7 インチ (13cm～17cm) ほど離して、噴きかけます。
- ・ パネル毎に塗装するのではなく、車体の全長に沿って塗装してください。
- ・ ボディーラインに沿ってではなく、直線的に塗装します。(参照：図 3)

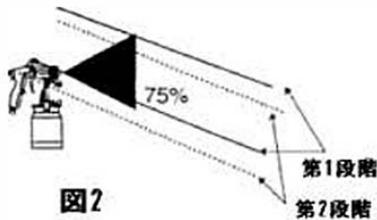


図 2



図 3

塗装 - 最終コート

- ・ トリガーが全開になるように塗料ノブを調整し、50% のオーバーラップパターンで 2～3 コート追加塗装します。
- ・ コーティング毎に、次のキャンディーコートをかける前に、指で表面を軽く触って糸が引かない程に乾燥していることを確認してください。次のコーティングをする前に表面が完全に乾燥しないよう、十分ご注意ください。
- ・ ウレタンクリアを 2～3 コート塗装します。指でキャンディーの表面を触って糸が引かない程度に乾燥していることを確認の上、クリアをかけてください。この際、必ずキャンディーが完全に乾燥してしまわないように十分ご注意ください。

6. ポリッシュ

塗装後 60 日で表面にワックスをかけることができます。研磨材を使用していない Carnauba ワックスのご利用をお勧めします。ポリッシュと仕上げの詳細については、テックシートをご参照ください。

**Show Up**  
COLORS  
be different.

**HOUSE OF KOLOR**